

議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。



総務建設

阿閉漁港埋立地の活用は

7月14日開催

阿閉漁港施設整備事業

阿閉漁港埋立地活用計画案に基づき、昨年度委託業者を選定。今年度に予算を計上。業者が検討委員会の要望や意見を踏まえた計画案をもとに、さらに検討・協議を重ねた結果、当初案との間に

変更点が生じ、予算に不足額が発生した。

JR土山駅南町有地活用事業

貸付により事業を実施する公募型プロポーザル方式により募集した。事業提案などの審査及びヒアリングを行い、大和リース(株)グループを優先交

渉権者に決定し、基本協定書と事業用定期借地権合意書を締結した。



▲町民の憩いの場となる阿閉漁港埋立地

8月19日開催

播磨町駅地下道エレベーター設置工事

地下水を汲み上げるため、ディープウエル工法に変更。山陽電鉄(株)側は水位の低下により軌道が下がることを懸念。その協議のため、約3カ月を要した。協議の間は工事の進展はなく、現場保全のため人件費などを増加したいとの説明があった。

入札制度

平成18年4月より郵便応募型条件付き一般競争入札実施要綱及び建設工事最低制限価格制度に関する事務取扱要領を制定し、実施するに至り、予定価格を事前に公表している。

その応札額は、低入札基準価格を下回る金額については最低制限価格と比較して、これを下回るものは失格になる。最低制限価格で、不当に安い価格での落札は防止できている。

厚生教育

水痘ワクチン定期接種に

8月7日開催

定期予防接種の追加

今年10月1日より、水痘(水ぼうそう)と肺炎球菌感染症の予防接種が定期接種に追加される。水痘ワクチンの接種対象者は1歳から3歳未満の子どもで、間隔を

て2回接種を行う。今年度に限り3歳から5歳未満の子どもに1回接種する。現行の接種補助は9月末で廃止される。肺炎球菌ワクチンの接種対象者は、平成30年度までは当該年度に65、70、75、80、85、90、95、100歳になる方で、今年度は

100歳以上の方も対象となる。また、60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいのある方も対象となる。

子育て支援新制度の基準
来々4月からの子ども・子育て新制度に向けて定める、施設設備や運営に関する基準について説明を受けた。

町当局の方針は、地域の実情に応じて定めるこ

とができる基準も含めて、国の基準を変更しない。

【主な質疑応答】
問 今後は定員数不足が考えられる。この基準で保育所が増えるのか。
答 保育施設の利用ピークを平成29年と予想している。新たな施設が開設されればいいのだが、保育園に定員増をお願いすることも考えている。新たな事業所については、予想はできない。

議会運営

先進議会を視察訪問

7月8日視察

山口県周南市

委員会懇談会・議会放映

について

住民と議会が懇談することにより自治意識の高揚を図り、議会においても市民が参画する機会を確保し、より住民の声を

議会活動に生かすことを目的とする委員会懇談会の実施と背景などを調査した。

各常任委員会、特別委員会において、議案などの審査や所轄事務の調査に必要と認める場合は特定のテーマに絞り込み、各種団体や自治体連合会

などを委員会へ招致し懇談会を実施。

議会情報公開として、加入率が85%と高いケーブルテレビ3社で、すべての本会議、全員協議会の中継放映を実施している。

7月9日視察

山口県下関市

ICT活用

議会インターネット配信の改善を求める住民の

意見を受け、従来の配信方式に加えて、スマートフォンやタブレット端末での視聴が可能となるライブではユーチューブと録画はユーチューブと、それぞれ無料配信を利用しての放映を開始。住民からも好評である。

本町議会としても住民参加のまちづくりや情報公開の配信サービス改善の時機と捉え推進を図る。



▲議会運営について視察(周南市)

広報公聴

動きのある紙面を目指して

7月10日・11日研修

町村議会広報研修会

当委員会では、議会だよりの紙面づくりにおいて、定例会や特別委員会の原稿、表紙の写真や議員から提出された一般質問原稿などを含めた紙面全体の編集もしている。議会での審議や予算など、

住民生活に直結する内容を簡潔に分かりやすくお伝えするためには、紙面づくりの技術を学び情報収集が必要になる。

そこで、動きのある紙面を目指し、第80回町村議会広報研修会に参加した。議会だよりの編集について3名の講師から講義を受けた。また、議会

広報クリニックでは、議会だよりの講評を受けた。

講義
①「わかりやすい表現・表記のために」では、編集における基礎的な手法。
②「議会広報誌の編集」では、チラシなどを参考に具体的な編集手法。
③「写真の見方、考え方」では、プロの視点からのアドバイスや自身の作品を交えながらの説明。

議会広報クリニック
当町の議会だより(平成26年4月24日発行)の予算特別委員会のページがわかりやすい紙面の見本として取り上げられた。理由としては、暮らしに直結したテーマで、わかりやすく表現されていることやレイアウトが見やすいように工夫されていることが評価された。改善点としては、町広報紙との違いを明確にすることなどが挙げられた。



▲町村議会広報研修会(東京都)